



mIRaI 通信

1

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

悔し！2年連続の偉業ならず！！



「1111111」…1の7並び、何の数字でしょう？

そう、昨年度は「11月11日」に「111号」を発行するという、なんともめでたい日であったわけです。

今年は…1号足りないじゃないですか！何てこった！！

計算していたわけでも、狙っていたわけでもないのですが、こうなってみるとムチャクチャ悔しいですね、人間って勝手なものです（苦笑）。



さて、11月11日、昨年度も書きましたが、この日はすごくて、

「恋人たちの日」「ジュエリーデー」「サッカーの日」「世界平和記念日」「ピーナッツの日」「折り紙の日」「チーズの日」「ライターの日」、そして忘れちゃいけない「ポッキーの日」…。

こんなにいっぱいある日はありません。やはり11月11日は特別な日のようで。



毎月10日は「合同あいさつ運動」の日



小中一貫教育校に向けて、様々な取組を行っていますが、どれも定着をしてきたようです。

毎月10日は、小中合同で伊里橋の上であいさつ運動です。この日は中学校から「めざせ！あいさつ日本一」の岡山県から配られたのぼりまで用意され、小学生がそれを持ってあいさつを行っていました。

定着するということは、それが「当たり前」になるということです。「当たり前のことを当たり前にする」、実はこれはかなり難しいことです。

今回は、定着することの「メリット」「デメリット」のうち、「デメリット」が目立ったようで残念でした。

中学生は、集まってはいるものの、その目的意識が薄れたのか、おしゃべりしたり、小学生にあいさつせずに話しかけたり。待っている態度も決して良いとはいえませんでした。片や小学生たちも、もう新鮮味がないのか、あいさつしない、声が小さい。

「定着すること」自体が良いものではありません。「定着」していく中で、ふりかえり反省し、次に活かし…と、進化していくこと

こそが大切なのだと思います。せつかく始めて続けている活動です。参加する者一人一人の意識の高さで、より良いものにしていきましょう。





こども園の避難訓練を（遠くから）見ました



10日も、時間を見つけてはセッセとグラウンドの草削りをしていました。すると川の向こうから何やら聞こえてきます。そうこうしてたら救急車まで見えました。「こ、これは…！」と、一瞬焦りましたが、すぐにこども園の避難訓練だとわかりました。

しばし手（と背中と腰）を休めて、遠くから見学。すると…何やははしごを高く高く組み立て、スルスルと隊員が2階に上がって行きます。組み立てからはしご上りまで、見事な動きでした。そしてしばらく後、毛布で包んだ大きなものを運び出し、ロープを伝わして上手に下ろしていきます。これはおそらくけがをした園児を救出、という設定なのでしょうね。ここまでの一連の動きは、さすがプロ！という感じで、川を挟んで遠く離れた中学校グラウンドから拍手喝采を送っていた秋山でした。

ここまでの動きをするには、反復練習を日頃から積み重ねてきたんだろうな、と感じました。継続は力なり！

自分も頑張らねば、と背中をさすりつつ草削りに戻っていった秋山でした。良いものを見せてもらいました。



違う角度からものを見ると…



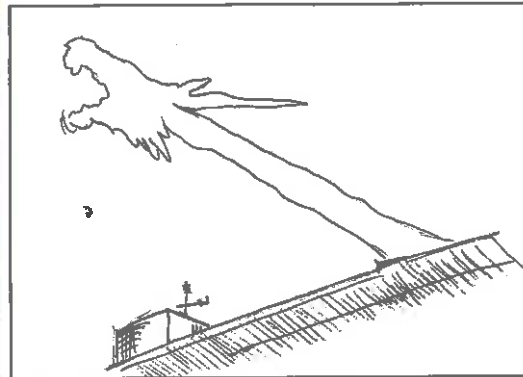
中庭の花壇にある彫刻を、そのポーズから「伊里中の平和を守るウルト○マン」と紹介したのは一昨年だったでしょうか。今回は、見る角度・位置が違えば大違い、シリーズです（勝手に命名）。この写真、その像を南棟3階から写したものです。ウルト○マンのように、右手を高々と挙げている像ですが、この位置から見ると、地中から突き出した手が「助けてくれ〜」と叫んでいるような…。

物だけでなく、人との付き合いでも、見方や角度を変えれば大違い、ということは多々あるように思います。

ケンカした時とか、ちょっと気まずい時、「あの人は、あいつは〜〜だから」と決めつけずに、ちょっと見方を変えてみると、「なあ〜んだ、そうか」と解決することも多いかもしれませんね。



今度は空に竜が現れたって？



雲って本当に色々な形に見せて面白いです。この日、校舎の上空にあった雲を見ていると、「竜」ではありませんか！ちょっと強引かもしれませんが、飛行機雲でもないのに、こんな細長い雲って珍しいですよ。そうなると、

やはり「竜」しかありません。自然って本当に面白い！みんなも空を見上げて面白い雲を見つけてみよう。でも交通には十分気をつけてね。上ばかり見て歩かないように。